



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 ヤマシナ
 コード番号 5955 URL <http://www.kk-yamashina.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 木村 隆宣
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 075-591-2131

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,048	0.3	288	20.9	304	21.2	294	2.4
2019年3月期第3四半期	7,028	6.3	364	7.8	386	6.8	287	11.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 331百万円 (6.8%) 2019年3月期第3四半期 310百万円 (1.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	2.13	
2019年3月期第3四半期	2.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,656	10,899	67.2
2019年3月期	14,865	10,757	69.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 10,519百万円 2019年3月期 10,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		1.00	1.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	1.8	420	11.3	440	12.1	370	2.3	2.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社山添製作所、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	143,611,765 株	2019年3月期	143,611,765 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	5,811,423 株	2019年3月期	5,060,803 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	138,220,412 株	2019年3月期3Q	139,076,820 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られるものの、相次ぐ自然災害や消費増税後の消費動向などが景気の下振れリスクとして懸念されております。また、米国の通商政策などから世界経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの主要取引先である自動車業界においては、海外生産化やグローバル調達強化等による不安要素もあり、国内市場の先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもと当社グループにおいてはグローバル体制の推進及び品質力、業務対応力、生産技術力の向上を図り、社会が望む魅力的な製品開発・提案を続けると共に、第1四半期連結会計期間から株式会社山添製作所を子会社化することで、営業力及び開発力の拡充を図っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,048百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益288百万円（前年同四半期比20.9%減）、経常利益304百万円（前年同四半期比21.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益294百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

なお、株式会社山添製作所の企業結合日は2019年6月30日となっており、負ののれん発生益として特別利益に91百万円計上しており、株式会社LADVIKにおいて、工場を新設したことによる移転費用として特別損失に14百万円計上しております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(金属製品事業)

金属製品事業におきましては、販売が伸び悩み売上が減少方向で推移しております。また、国内会社においては人員増加による販売管理費の増加及び株式会社山添製作所を取得したことによるM&A費用を支出した要因等もあり、売上高は5,356百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益は332百万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

(電線・ケーブル事業)

電線・ケーブル事業におきましては、経費削減に努めておりますが、近年受注の低迷により厳しい状況が続いております。

その結果、売上高は887百万円（前年同四半期比17.9%減）、営業損失は17百万円（前年同四半期は営業利益25百万円）となりました。

(不動産事業)

保有不動産について、安定した稼働率の確保に努めており、2019年2月に保有不動産を1物件購入したことにより、売上高は199百万円（前年同四半期比29.1%増）、営業利益は112百万円（前年同四半期比19.1%増）となりました。

(その他の事業)

その他の事業については、主として化成品事業及び売電事業から構成されております。化成品事業は、発泡・強化プラスチック製品の販売を行っております。売電事業につきましては、ソーラーパネルの設置を保有不動産の有効活用目的に限定することで事業リスクの低減を図っております。

その結果、売上高は604百万円（前年同四半期比54.4%増）、営業利益は30百万円（前年同四半期比299.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて22百万円(0.4%)増加し、6,173百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が76百万円、商品及び製品が105百万円、仕掛品が78百万円、原材料及び貯蔵品が44百万円増加し、現金及び預金が324百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて769百万円(8.8%)増加し、9,483百万円となりました。これは、建物及び構築物(純額)が65百万円、土地が558百万円、有形固定資産のその他(純額)が121百万円、投資その他の資産のその他が25百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて259百万円(11.0%)増加し、2,620百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が53百万円、流動負債のその他が222百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて389百万円(22.3%)増加し、2,136百万円となりました。これは、長期借入金が126百万円、固定負債のその他が208百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて142百万円(1.3%)増加し、10,899百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が294百万円、配当の実施が138百万円等により利益剰余金が155百万円、為替換算調整勘定が16百万円、自己株式が50百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績および足許の業績動向を踏まえ、2019年5月8日に公表いたしました2020年3月期通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,023,937	1,699,018
受取手形及び売掛金	2,013,484	2,090,300
電子記録債権	486,649	477,339
商品及び製品	686,907	792,138
仕掛品	347,855	425,984
原材料及び貯蔵品	463,855	508,186
その他	130,640	184,627
貸倒引当金	△2,011	△3,864
流動資産合計	6,151,317	6,173,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,650,388	1,716,209
土地	4,878,283	5,436,805
その他(純額)	1,258,172	1,379,608
有形固定資産合計	7,786,844	8,532,623
無形固定資産		
のれん	58,197	49,999
その他	26,927	32,463
無形固定資産合計	85,125	82,462
投資その他の資産		
破産更生債権等	3,013	2,181
その他	871,482	896,844
貸倒引当金	△32,622	△30,947
投資その他の資産合計	841,873	868,077
固定資産合計	8,713,843	9,483,164
資産合計	14,865,160	15,656,895
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	989,956	1,043,447
短期借入金	731,000	777,885
未払法人税等	55,711	23,488
賞与引当金	86,672	55,502
その他	497,190	720,116
流動負債合計	2,360,531	2,620,440
固定負債		
長期借入金	51,324	177,950
退職給付に係る負債	443,048	495,101
役員退職慰労引当金	31,560	33,930
資産除去債務	88,908	89,220
その他	1,132,079	1,340,354
固定負債合計	1,746,919	2,136,556
負債合計	4,107,450	4,756,996

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	6,433,020	6,433,020
利益剰余金	2,608,251	2,764,011
自己株式	△181,728	△231,728
株主資本合計	8,949,543	9,055,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,733	18,122
土地再評価差額金	1,429,103	1,429,103
為替換算調整勘定	1,152	17,264
その他の包括利益累計額合計	1,444,989	1,464,491
非支配株主持分	363,176	380,103
純資産合計	10,757,709	10,899,898
負債純資産合計	14,865,160	15,656,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	7,028,036	7,048,011
売上原価	5,545,844	5,556,591
売上総利益	1,482,191	1,491,420
販売費及び一般管理費	1,117,275	1,202,686
営業利益	364,916	288,733
営業外収益		
受取利息	2,899	4,001
受取配当金	794	1,302
その他	27,726	21,267
営業外収益合計	31,420	26,570
営業外費用		
支払利息	5,830	6,625
その他	4,500	4,392
営業外費用合計	10,331	11,018
経常利益	386,006	304,286
特別利益		
固定資産売却益	642	545
保険差益	—	11,852
負ののれん発生益	—	91,735
特別利益合計	642	104,134
特別損失		
固定資産売却損	358	137
固定資産除却損	2,624	704
工場移転費用	—	14,819
特別損失合計	2,983	15,660
税金等調整前四半期純利益	383,665	392,760
法人税、住民税及び事業税	70,374	85,158
法人税等合計	70,374	85,158
四半期純利益	313,290	307,601
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,815	13,290
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,474	294,311

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	313,290	307,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,392	3,837
為替換算調整勘定	8,423	19,950
その他の包括利益合計	△2,968	23,788
四半期包括利益	310,321	331,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285,112	313,813
非支配株主に係る四半期包括利益	25,209	17,576

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目を考慮し、法定実効税率を使用して計算しております。